

審査結果概要書

平成 21 年 9 月 30 日

審査機関名 ビューローベリタスジャパン株式会社

1. 排出削減事業の概要

| | |
|--------------|---|
| 排出削減事業名 | 重油ボイラから都市ガスボイラへの更新プロジェクト |
| 排出削減事業者名 | 有限会社 コジマ |
| 排出削減共同実施事業者名 | 株式会社 FT カーボン |
| 事業実施場所 | 有限会社 コジマ (住所：大阪府岸和田市並松町 27-8) |
| 事業の概要 | 現在使用中の A 重油ボイラを、新しい都市ガスボイラへ更新し、併せて A 重油よりも単位発熱量あたりの炭素含有量が少ない都市ガスを利用することで、エネルギー消費量及び CO2 排出量を削減する。 |
| 排出削減量の計画 | 235tCO2/年 (事業実施期間合計 1,057 tCO2) |
| 国内クレジット認証期間 | 事業開始日 2008 年 10 月 1 日 終了予定日 2013 年 3 月 31 日 |
| 排出削減方法論 | 方法論 001 「ボイラーの更新」 |

2. 審査結果

本事業は、排出削減事業の要件に適合している。

3. 実施した審査手続きの概要

審査手続きにより、以下の排出削減事業の認証の要件の妥当性を確認している。

| 要件 | 審査手続き |
|--------------|---|
| 日本国内で実施されること | 事業計画が日本国内で実施されていることを、事業サイトを訪問して確認した。 排出削減事業実施場所：有限会社 コジマ |
| 追加性を有すること | 本排出削減事業は、法的義務等の遵守のために計画されたも |

| | |
|---------------------------------|--|
| | <p>のでもなく、省エネルギーおよび CO2 排出量の削減を目的として実施されたことを本排出削減事業者、その他関連事業者への質問等により確認した。</p> <p>排出削減事業の投資回収年数については、入手した根拠資料、質問および検算により、約 4.4 年であることを確認した。</p> <p>本排出削減事業者は、当初は更新前ボイラを継続して利用していく予定であったが、ボイラの購入先企業より情報提供と提案を受け、国内クレジット制度の活用を検討に至った。その結果、国内クレジット売却益が投資回収年数短縮に寄与することが、本事業への投資決定の重要な一因となったことを確認した。</p> |
| <p>自主行動計画に参加していない者により行われること</p> | <p>現地有効化審査において、排出削減事業者へ質問を行い、外部へのエネルギー使用量の報告を一切行っていないことを確認した。</p> |
| <p>排出削減方法論に基づいて実施されること</p> | <p>1) 本排出削減事業は、承認排出削減方法論 001 に基づき排出削減量を計算しており、また、方法論の適用条件を満たしていることを確認した。また、設備の使用年数も法定耐用年数の 2 倍 (30 年) を超えていないことも質問・関連資料の閲覧により確認した。</p> <p>【方法論番号 001 ボイラの更新】</p> <p>適用条件 1 については、事業者への質問、新旧ボイラ設備の仕様書の確認等によって、更新前に使用されていたボイラよりも高効率のボイラへの更新であることを確認した。</p> <p>適用条件 2 については質問、関連資料の閲覧等により、更新前のボイラを継続して利用することができることを確認した。</p> <p>適用条件 3 については、更新後のボイラで生産した蒸気的全量が自家消費されていることを事業サイトの視察、全体レイアウト図の確認、及び関係者への質問等により確認した。</p> <p>2) その他、バウンダリの設定、ベースラインの設定、リーケージの特定、排出削減量、モニタリングの方法が適切であることについて、事業者への質問と関連資料の閲覧により確認した。</p> |

4. 特記事項

- ・ 投資回収年数については、補助金を除いた純投資額をもとに算出している。
- ・ 現地有効化審査を実施した結果、是正の必要な指摘事項があった。その是正処置の完了を確認した。

以上